バイオマス産業都市さが

バイオマス産業都市とは？

木質、食品廃棄物、下水汚泥、家畜排せつ物など地域のバイオマスの原料生産から収集・運搬、製造・利用までの経済性が確保された一貫システムを構築し、地域のバイオマスを活用した産業創出と地域循環型のエネルギーの強化により、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまちづくりを目指す地域のことです。

「バイオマス産業都市」に選定！

平成 26 年 11 月 10 日、佐賀市は、福岡県みやま市、大分県佐伯市とともに、九州で初めて「バイオマス産業都市」に選定されました。

佐賀市はバイオマス産業都市として、地域のバイオマスを活用し、「廃棄物であったものがエネルギーや資源として価値を生み出しながら循環するまちづくり」を目指します。

バイオマス産業都市認定証授与式で
あべ俊子農林水産副大臣と

「バイオマス産業都市さが」取り組み紹介

市民や事業者に、「バイオマス産業都市さが」の将来像や取り組みの意義を認識してもらうことを目的とし、「2014 さが環境フェスティバル in 森林公園」でＰＲを行いました。

佐賀市が関連産業の集積を目指している藻類について知っていただくために、藻類の一種であるミドリムシのミニ培養槽の展示やミドリムシの加工品である緑汁の試飲、ミドリムシキャラクターを素材にしたゲームの体験コーナーなどを設けました。

ミドリムシゲームを楽しむ市民

ミドリムシ由来のバイオ燃料（ＤｅｕＳＥＬ）を使用した
バスツアー

ミニ培養槽でミドリムシを展示

バイオマス産業都市さが

清掃工場バイオマスエネルギー利活用促進事業

「清掃工場バイオマスエネルギー利活用促進事業」は、佐賀市バイオマス産業都市構想の事業化プロジェクトのひとつであり、清掃工場のごみ処理過程で発生する排ガスから二酸化炭素を分離回収し、資源として農作物の栽培や藻類の培養に活用するなど新たな産業の創出を目指すものです。

平成 25 年度から平成 26 年度の 2 年間で佐賀市と企業が連携して実証実験に取り組み、分離回収した二酸化炭素の成分分析やコストの評価などを行いました。

清掃工場に設置している二酸化炭素分離回収試験装置

野菜を栽培中の室内で、栽培環境（大気質）の調査を実施

藻類の一種であるミドリムシは、植物と動物の中間的存在であり光合成を行います。人間が必要とする栄養素 59 種類を含有しており、バイオジェット燃料の元となる軽質油も産出できます。

農作物の栽培に二酸化炭素を利用すると、収量の大幅な増加や育成期間短縮、果実肥大、糖度上昇などの効果があるといわれています。

㈱アルビータとのCO_2活用に関する協定

佐賀市と株式会社アルビータは、平成 26 年 6 月 24 日に、清掃工場から発生する二酸化炭素の供給等に関する協定を締結しました。

同社は清掃工場西側でヘマトコッカス等の微細藻類の培養を行い、微細藻類から抽出される物質を用いて化粧品等を製造される計画です。

佐賀市は引き続き藻類産業の集積を目指し、取り組みを進めます。